市民生活部

公共交通について

問　きんちゃんバス等の利用者が約 6,800 人減少した要因は。

答　土曜運行のチョイソコやとみへの移行や、高校生の利用減などが主な要因。



▲きんちゃんバス

問　チョイソコはきんちゃんバス運行を休止した東部ルートを代替できているか。

答　十四山地区では年間約 5 千人と推計し、従来のバス利用を上回っている。

問　公共交通の変更によって、交通空白地は生じていないか。

答　チョイソコ停留所を 805 カ所設置し、市内の交通空白地は解消したと考えている。



▲チョイソコやとみ

観光協会補助金について

問　観光協会補助金が前年度から大幅に減った理由は。

答　「YaToMi AQUA」周年祭の中止や、海南こどもの国「秋まつり」の規模縮小などによるもの。

健康福祉部

国民健康保険特別会計について

問　国民健康保険特別会計で予算と決算に約 3 億円の差が生じた要因は。

答　被保険者数の減少や、医療機関の受診件数が見込みを下回ったことなど。

障害者福祉タクシー利用券について

問　障害者福祉タクシー利用券の年間利用枚数が 612 枚減少した主な理由は。

答　市内タクシー会社の廃業や、利用者の施設入所など。

民生費について

問　民生費が約 1 億 8,600 万円増加した主な要因は。

答　障がい福祉サービス、施設型給付費、児童手当、医療扶助費などの増加。

重層的支援体制準備事業について

問　令和 8 年度の重層的支援体制整備の本格実施に向け、相談体制をどう強化したか。

答　ふくし総合相談窓口を常設し、コミュニティソーシャルワーカー 1 人配置を 3 人に拡充した。



▲市庁舎 1 階のふくし総合相談窓口

教育部

教育支援センターについて

問　教育支援センター「アクティブ」の利用者が減少した要因は。

答　卒業 6 人、学校復帰 3 人、市外在籍者 1 人減の計 10 人の減少が主な要因。



▲十四山支所 2 階の教育支援センター「アクティブ」

スクールカウンセラーについて

問　スクールカウンセラーは相談時以外にどのような活動をしているのか。

答　校内巡回や情報共有などを行い、児童生徒の変化の早期把握に努めている。

問　児童生徒がカウンセラーへ相談しやすくするための取組は。

答　学級への顔出しや相談室だより、男性スクールカウンセラー配置などを進めている。